

環境局

一般会計要求総額

36,732百万円
(対前年度 +72.0%)

令和6年度 予算要求の方針

環境局は、地球温暖化対策や大気・水質等の保全、自然保護、ごみの適正処理など、安全・安心な生活環境の提供に取り組んでいます。

令和6年度は、環境産業の発展や環境スタートアップの創出に取り組むとともに、公害克服の経験や技術を活かした環境国際ビジネスを推進することで「稼げるまち」の実現につなげます。

また、北九州市の自然環境のPRや保全、まちの美観の維持・向上に取り組み「彩りあるまち」に貢献します。さらに効率的なごみ処理体制を安定して提供することで「安らぐまち」を下支えします。

令和6年度 予算の基本的な考え方 (新)：新規事業 (継)：継続事業 (拡)：拡充事業

(1) 「稼げるまち」の実現

環境と経済の好循環によるグリーン成長を先導する世界のリーディング都市を目指し、風力発電、水素などの再生可能エネルギーの供給・利活用拠点化、社会課題に対応した新たなリサイクル事業などの循環経済の創出などに取り組めます。これにより、グリーン産業の更なる発展を図るとともに、再エネ電力など様々な環境価値の企業への提供による国際競争力の強化や、環境分野で新たな挑戦を目指す企業の集積を図る「(仮称)北九州グリーンインパクト」を推進します。

【主な事業】

- (新) 環境スタートアップ集積促進事業
- (新) サーキュラーエコノミー基盤形成促進関連事業
- (拡) 水素拠点化推進事業
- (新) カーボンニュートラル支援プログラム
- (拡) 再エネ普及推進関連事業
- (新) アジア・グリーン共創ハブ推進事業

グリーンインパクト
推進パッケージ

等



提供：NEDO

(2) 「彩りあるまち」の実現

北九州の豊かな自然環境の情報発信や保全を通じて、生物多様性の回復を目指す「ネイチャーポジティブ」に取り組むとともに、集中的なまち美化対策の実施等により、人や企業が集まりたくなる「まち」の実現に貢献します。

【主な事業】

- (新) (仮称) KitaQネイチャーポジティブ発信事業
- (新) 美しいまちづくり Re▶トライ プロジェクト

等



クリーンアップ大作戦の様相

(3) 「安らぐまち」の実現

ごみ焼却工場等の廃棄物処理施設の適切な維持・充実や、大気・水質等の環境保全、不法投棄対策等に取り組むことで市民に安定かつ効率的な都市インフラを提供します。

【主な事業】

- (拡) 新日明工場建設事業
- (拡) 新門司工場基幹的設備改良事業
- (拡) 本城資源化センター整備事業

等



新日明工場完成予想図

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和6年度に実施することが確定しているものではありません。

令和6年度環境局予算要求方針

1 令和6年度環境局予算要求総括及び方針

(1) 令和6年度環境局予算要求総括

【一般会計】

令和6年度要求総額	36,732,206千円
(令和5年度予算額	21,351,664千円)
前年度比	+72.0%

(2) 令和6年度環境局予算要求の方針

環境局は、地球温暖化対策や大気・水質等の保全、自然保護、ごみの適正処理など、安全・安心な生活環境の提供に取り組んでいる。

令和6年度は、環境産業の発展や環境スタートアップの創出に取り組むとともに、公害克服の経験や技術を活かした環境国際ビジネスを推進することで「稼げるまち」の実現につなげる。

また、北九州市の自然環境のPRや保全、まちの美観の維持・向上に取り組む、「彩りあるまち」に貢献する。

さらに、効率的なごみ処理体制を安定して提供することで「安らぐまち」を下支えする。

2 重点的に取り組みたい主なもの



(1) 「稼げるまち」の実現

環境と経済の好循環によるグリーン成長を先導する世界のリーディング都市を目指し、風力発電、水素などの再生可能エネルギーの供給・利活用拠点化、社会課題に対応した新たなリサイクル事業などの循環経済の創出などに取り組む。

これにより、グリーン産業の更なる発展を図るとともに、再エネ電力など様々な環境価値の企業への提供による国際競争力の強化や、環境分野で新たな挑戦を目指す企業の集積を図る「(仮称)北九州グリーンインパクト」を推進する。

- ・ **新規**環境スタートアップ集積促進事業 7,000千円
【特定財源 デジタル田園都市国家構想交付金 3,500千円】

北九州市の強みである環境分野において、エコタウン事業等で培ったノウハウを活かし、国内外の環境スタートアップの集積を図るもの。具体的には、東京都内で事業支援施策のPRを行うとともに、スタートアップを本市に招き、マッチングなどを行う。

- ・ **新規**サーキュラーエコノミー基盤形成促進関連事業 98,000千円
【特定財源 デジタル田園都市国家構想交付金 13,000千円】

国内外で高評価のエコタウン事業の更なる発展に向け、蓄電池やプラスチック、SAF等のリサイクルシステムの構築など新たなビジネスの創出に取り組むとともに、製造業等の動脈産業にリサイクル原料を供給する動静脈連携の推進や、リサイクル設備の導入を促進する補助制度の創設等を行う。

- ・ **拡充**水素拠点化推進事業 51,000千円
【特定財源 デジタル田園都市国家構想交付金 20,000千円】

産学官の協議会において策定中の響灘臨海部を中心とした「水素拠点形成計画」に基づき、製造業等における水素利用プロジェクトの更なる具体化と、事業可能性調査・技術開発の補助金支援を行うことで、地元企業の脱炭素化と国際競争力の強化、新たな産業集積につなげる。

・ **新規**カーボンニュートラル支援プログラム

5,000千円

市内企業の支援や企業誘致のインセンティブ創出のため、再生可能エネルギー（電力等）を供給する仕組みを産官連携で構築するもの。このような取組を市内外でPRするとともに、企業ニーズをきめ細かく把握し、新たな支援策を検討する。

・ **拡充**再エネ普及推進関連事業

787,408千円

【特定財源 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 695,058千円】

【特定財源 デジタル田園都市国家構想交付金 16,550千円】

国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用した公共施設・市内企業への第三者所有方式等による再エネ等（太陽光発電）の普及を推進する。

また、再エネ主力電源の切り札と言われる洋上風力発電において、「北九州市風力発電人材育成連絡会」の事業を拡充し、産学官の連携による人材の育成・確保に積極的に取り組む。

加えて、エコタウンセンターにおける展示について、「（仮称）北九州グリーンインパクト」を踏まえたりニューアルの検討を行う。

- ・ **新規** アジア・グリーン共創ハブ推進事業 40,000千円
 【特定財源 デジタル田園都市国家構想交付金 18,000千円】

環境国際ビジネスの拠点化に向けて、ヒト・モノ・カネ・情報が行き交う仕組みづくりを行い、北九州市が国際協力や環境国際ビジネスの結節点になり、「稼げるまち」の原動力となることを目指す。

本事業では留学生、国内外投資専門家、海外現地企業等とビジネス面で接点を強化し、技術・製品・サービスの輸出や企業の海外進出にとどまらず、対日投資を含めた取組を展開するもの。

こうした取組を通して「日本で環境ビジネスを展開するなら北九州市」との評価を目指していく。

(仮称) アジア・グリーン共創ハブ構想での取組内容 (4C)



※下線は令和6年度重点取組項目

(2) 「彩りあるまち」の実現

北九州の豊かな自然環境の情報発信や保全を通じて、生物多様性の回復を目指す「ネイチャーポジティブ」に取り組むとともに、集中的なまち美化対策の実施等により、人や企業が集まりたくなる「まち」の実現に貢献する。

- ・ **新規** (仮称) KitaQ ネイチャーポジティブ発信事業 5,000千円
【特定財源 環境保全基金 5,000千円】

北九州市の自然環境等に関する全ての情報をひとつにまとめたポータルサイトを構築し、北九州市の自然の特徴や見どころ等を分かりやすく発信することで、市民が自然にアクセスする機会を増やし、ひとり一人に北九州市の自然を楽しんでもらうとともに、ネイチャーポジティブに対する理解を深めてもらう。また、市外からの来訪者にも北九州市の自然環境の素晴らしさを実感してもらい、都市ブランドの向上を図る。

- ・ **新規** 美しいまちづくり Re▶トライ プロジェクト
5,000千円

観光客や単身赴任者、学生などの一時的な滞在者を含め、北九州市に関わるすべての人が、日常の街並みを美しいと感じられるよう、清潔で美しいまちづくりを進める。そのため、市のイメージアップにつながる取組みとして、特にごみの散乱が多い繁華街を中心に、集中的かつ継続的なまち美化対策等を行う。



(3)「安らぐまち」の実現

ごみ焼却工場等の廃棄物処理施設の適切な維持・充実や、大気・水質等の環境保全、不法投棄対策等に取り組むことで、市民に安定かつ効率的な都市インフラを提供する。

- ・**拡充**新日明工場建設事業 19,321,934千円
【特定財源 循環型社会形成推進交付金 6,653,834千円】
【特定財源 地方債 12,630,600千円】

新日明工場（PFI：BTO方式）令和7年4月運営開始予定
建設：R2～R6年度（33,265,856千円）
運営：R7～R26年度（18,954,754千円）

- ・**拡充**新門司工場基幹的設備改良事業 2,561,881千円
【特定財源 循環型社会形成推進交付金 441,500千円】
【特定財源 地方債 1,722,400千円】

- ・**拡充**本城資源化センター整備事業 1,457,940千円
【特定財源 循環型社会形成推進交付金 485,980千円】
【特定財源 地方債 874,600千円】

市内のごみを適正かつ安定的に処理するため、廃棄物処理施設を更新し、大規模災害への対応、温室効果ガスの削減、広域処理等の課題に総合的に取り組んでいく。

3 令和6年度予算編成に向けた事務事業の自己点検状況

令和6年度予算編成と同時並行的に取り組んでいる自己点検の内容については、予算案の決定に向け見直しを検討しているところです。

現時点で、見直しの検討を行っている事業の例としては、以下のものがあります。

(1) 視点1：市民のニーズや社会経済情勢の変化への対応

- (例)・ESD活動支援事業（ESD表彰にかかるもの）
- ・新規環境産業創出事業
 - ・草刈業務事務費
 - ・プラスチック資源一括回収事業（広報）
 - ・広げよう食品ロス・生ごみ削減の環づくり事業

(2) 視点2：効率性・生産性・費用対効果

- (例)・「北九州市の環境」の作成
- ・環境人材育成事業（環境首都検定）
 - ・新メカニズム構築事業

(3) 視点3：他の政策との重複の有無

- (例)・環境人材育成事業（みどりのノート）
- ・脱炭素サプライチェーン支援事業

(4) 視点4：実施水準及び対象範囲の妥当性

- (例)・PCB適正処理推進事業

(5) 視点6：官と民の役割分担、公民連携

- (例)・古紙・古着リサイクル推進事業

(6) その他

- (例)・「北九州市環境基本計画」改定事業

(7) その他一般経費（内部管理費）の見直し